

●P.1 「資料3」令和2年度第3回モニタリング調査結果について

●P.2 「調査地点」

- ・調査地点は前回から変更ありません。

●P.3 「調査日、浸透水の移流拡散概念図、調査方法等について」

1. 調査日について

- ・令和2年度第3回調査を次の日程で実施しました。

浸透水と地下水 11月17日

経堂池 11月25日

2. 浸透水の移流拡散概念図について

- ・廃棄物土に触れて汚染された浸透水が、横に接する帯水層である Ks3 層および下に位置する帯水層である Ks2 層に移流拡散していました。
(汚染された浸透水の漏出を防ぐため遮水工事を行い、令和元年11月に完了しました。)

3. 調査方法およびグラフの記載について

- ・Ks3 層の地下水採水地点のうち H24-8(2)は、今までと同様、水量が僅かであったため pH および EC のみを測定しました。また、C-9 は、水量が少なかったためダイオキシン類以外を測定しました。
- ・調査地点において過年度に環境基準を超過した項目と電気伝導度の経年変化を帯水層ごとにグラフ化しました。なお、C-7、C-8、C-9 は P.26～28 に別にまとめています。

●P.4 「電気伝導度・Ks3 層と浸透水」

- ・全体的にほぼ横ばい、あるいは低下傾向で推移しています。

●P.5 「電気伝導度・Ks2 層」

- ・多くの地点で横ばいで推移しています。
- ・No.1、H24-2 では平成30年(2018年)6月から上昇傾向となっています。
- ・No.3-1 では令和2年(2020年)5月に大きく低下しましたが、その後再び上昇傾向となっています。

●P.6 「ヒ素・Ks3 層と浸透水」

- ・全地点で不検出でした。

●P.7 「ヒ素・Ks2 層」

第36回旧RD最終処分場問題連絡協議会
【資料3】令和2年度第3回モニタリング調査結果について
(補足説明資料)

- ・ H26-S2、No.3-1の2地点で環境基準を超過しました。
- ・ 2地点とも横ばいで推移しています。
- ・ H24-7では調査開始当初から環境基準値付近で推移し、平成31年(2019年)1月以降超過が継続していましたが、今回は環境基準値と同じ値でした。

●P.8～9「ふっ素」

- ・ 全地点で環境基準以下でした。

●P.10「ほう素・Ks3層と浸透水」

- ・ ほう素はKs3層で1地点、Ks2層で1地点の合計2地点で環境基準を超過しました。
- ・ Ks3層では、H26-S2(2)の1地点で環境基準を超過しました。
- ・ H26-S2(2)は横ばいで推移しています。
- ・ 揚水ピットは、環境基準値前後で横ばいで推移しています。

●P.11「ほう素・Ks2層」

- ・ Ks2層では、No.1の1地点で環境基準を超過しました。
- ・ No.1は環境基準値付近で横ばいで推移していましたが、今回は環境基準値の1.1倍となりました。

●P.12～13「鉛」

- ・ 全地点で不検出でした。

●P.14～15「水銀」

- ・ 全地点で不検出でした。

●P.16～17「1,2-ジクロロエチレン」

- ・ 全地点で不検出でした。

●P.18～19「クロロエチレン」

- ・ 全地点で不検出でした。

●P.20～21「1,4-ジオキサン」

- ・ 全地点で環境基準以下でした。

●P.22～23「ダイオキシン類」

- ・ 全地点で環境基準以下でした。

●P.24～25「調査結果まとめ」

- ・調査結果のまとめを記載しています。

●P.26～28「家庭系ごみの影響に関する調査について」

- ・26、27ページにそれぞれ今年度と前年度の結果を記載しており、28ページにそのまとめとEC、CODのグラフを記載しています。
- ・今回は令和2年度第3回、通算7回目の調査です。
- ・環境基準の超過はありませんでした。

●P.29「経堂池の水質等」

- ・過去に農業用水基準を超過した項目のグラフを記載しています。
- ・今回は農業用水基準を超過した項目はありませんでした。

●P.30「結果一覧」

- ・結果の一覧表を記載しています。